

急激に冬に向かっていく季節ですが、今年も運動会を開催することができました。

今までの園生活の中で子どもたちが楽しんだことを競技に取り上げ、子どもたちと考えたダンスを楽しんだりします。運動会があるから練習してできるようにするのではなく、こんなことが考えたりできるようになった子どもの成長をご家庭の方と一緒に喜ぶ日にしたいと行っています。

応援に来てくれた小学生や未就園児のお子さん、そしてご家族の方にも競技を楽しんでもらっています。

そんな楽しさはたとえ園生活の内容を忘れてしまっても、その楽しかった気持ちが子どもの心を豊かに育ててくれていると思います。

運動会の後はプチ運動会と言って園児だけで楽しむ運動会をします。

内容はやりたかった他の学年の競技をクラスで決めて行うもので、人気の競技は学年縦割りのグループを作り学年のかかわりを深めます。

中でも年長が行ったバルーンは大人気でした。

年長児が年中児・年少児の間に入り、年長児のリードのもと様々な技ができるとみんな感性や笑顔があふれました。

年長児は力の入れ具合やバルーンの上げ下げを年中児や年少児に合わせて行うことを覚え、優しくリードしてくれました。

ですから年中児や年少児は年長児へのあこがれをより強くしたと思います。

よく3学期の終わりに、次は何組さんになるかの話を子どもたちでしているのを聞くのですが、年少児が「私は次はより1組(年長)さんになる」「僕はぜったいより2組(年長)になる」と話しているのを聞きます。そんな時年長児が「まだ、たんぼぼ(年中)さんやひまわり(年中)さんがあるよ」と教えてくれている光景をよく見ます。

園でのいろいろなかかわりも子どもたちを成長させ、大きくなることにあこがれ期待できる子どもたちにしていくのです。

季節を感じながら子どもたちと園生活を楽しくていくことを考えていきたいと思っています。